

保護者様

練馬区立北町西小学校
校長 吉川 文章

平成29年度 展覧会アンケートのお願い

展覧会には、多数のアンケートをいただき感謝申し上げます。集計ができましたので、下記のとおり返信をいたします。また、いただいたご意見を次回（3年後）の実施に向けて生かしてまいります。よろしくお願ひいたします。

記

1 集計結果について

（数字は割合・%を示しています）四捨五入の関係で合計が100にならない場合があります。

A（そう思う） B（ややそう思う） C（あまりそう思わない） D（そう思わない） ※E（見ていないなど、わからない）は、割合からはずしてあります

項目	内容	A	B	C	D
日時	開催日時は適当であった	90%	9%	1%	1%
運営	受付、会場管理等の運営は、安全に円滑に行われていた	88%	12%	0%	0%
作品や展示の内容	作品づくりに取りくむ児童の姿や、つくるよこびが伝わる展覧会になっていた	91%	7%	2%	0%
	共同制作も含めた全体の展示方法は、工夫されていた	94%	5%	2%	0%

全ての項目について、肯定的な評価（「そう思う」と「ややそう思う」の合計の割合）が100%近い値でした。特に、全体の展示方法の工夫については、「そう思う」が94%と極めて高い評価をいただきました。大変ありがたいことです。以下、今回の展覧会に向けて、学校が取り組んだ工夫についてお伝えいたします。

- ・作品はただの「物」ではなく、つくったその子の「もう一人の自分」です。大切に作品をつくりながら自分自身も成長させている子供たちの姿や思いが保護者の方々に伝わる展覧会にすることを目標として全体の計画をしました。そのため、4月から授業中の子供たちの活動を撮り、VTR映像として上映しました。映像中の子供の見える世界、手の動き、表情やつぶやきから、作品をつくる子供たちの喜びや学びを感じていただけましたら幸いです。
- ・学校全体の子供たちが活躍できるよう、1年生から6年生まで共同制作を実践しました。1人ではできないこと、協力したからできたことを子供たちが実感できる経験を大切にしました。
- ・どの題材でも「あなたならどうつくる？」という問いを一番大切にし、子供自身の発想で作品がつけられるようにしました。子供の純粹で柔軟な発想で溢れる、生き生きとした展覧会を目指しました。
- ・作品を観て終わり、ではなく、鑑賞者も図工の時間のわくわくを体験できる展覧会にするため、懐中電灯を持ってステージの中の暗闇を歩き、壁に映る影で遊べるような作品展示をしました。
- ・高学年は、日頃の成長の成果を伝えるため、児童学芸員として展覧会の題材について自分で調べたことを来場者に伝える活動を行いました。

2 作品や展示方法についてのご感想、ご意見

ご意見の文末は、敬体で統一をさせていただきました。

(1) 良かったところなど

記載しきれないほどの多数の温かなお言葉・ご意見をありがとうございました。紙面の関係で複数のお言葉を1文にまとめて記載させていただいております。

【日時・運営について】

- ・2日間、朝から17時まで開放されていたので、ゆっくり鑑賞することができました。
- ・ホームページで展覧会ができあがるまでの過程を見られて良かったです。等

【展示方法について】

- ・どの学年も展示方法が工夫されていて、作品がいきいきとしていて、楽しく鑑賞できました。明るい色にあふれ、体育館のあらゆる空間が活かされていました。
- ・共同制作はどの学年のものも見応えがありました。
- ・懐中電灯で光を当てて壁の影を楽しむような、参加型の展示になっていたところが良かったです。等

【児童の姿・つくるよろこびが伝わる展覧会について】

- ・制作中の映像が見られてよかったです。真剣に、楽しそうに作品をつくる子供の表情に感動しました。映像を見た後だと、より作品の良さが伝わってきました。
- ・作品の工夫が一人一人書いてあり、子供の想いが分かったところが良かったです。
- ・一生懸命に作品をつくった子供たちの想いが伝わってくる展覧会でした。等

【5, 6年生の学芸員について】

- ・作品について、制作過程や大切にされているところなどの、見えないところまで教えてもらえたところが良かったです。
- ・大人を相手にしっかりと説明できていて、子供の成長が感じられました。
- ・自分の言葉で説明が考えられていて、質問にも柔軟に答えてくれたところに驚きました。等

【鑑賞活動について】

- ・児童鑑賞の鑑賞態度がよく、良質な鑑賞活動がされていました。
- ・たてわり班の子からもらった手紙を子供が嬉しそうに持ち帰ってきました。よい取り組みだと思います。等

(2) 改善して欲しいところなど

多くの建設的なご意見ありがとうございました。()内の数字はご意見の人数になります。なお、個別にお答えし載せていないご意見もあります。

- ・一番奥の光と影の展示は子供から聞いていたのでわかったのですが、入り口が少しわかりにくかったように思いました。(1)
- ・ステージ裏、体育倉庫にあった5,6年生共同作品に気づきませんでした。受付や会場の先生からの声かけが欲しいです。(2)
→ご意見ありがとうございます。今後の展示・会場設営の参考にさせていただきます。
- ・開催日時ですが、日曜日もあると大変助かります。(1)
→日曜日の学芸員の子供たちの振替休日をどうするのか、日程調整をどうするのかなど課題はたくさんありますが、日時、時間など今後検討させていただきたいと思います。
- ・学芸員の説明がとても良かったです。丁寧すぎて子供らしくなかったです。もう少し砕けた感じの方が良かったです。(1)

→ご意見ありがとうございます。5、6年生は敬語の学習をしていますので、それを生かした解説文を子供自身の言葉で考え、学芸員活動を行いました。

- ・もし、可能であれば第二土曜日の学校公開を作品展の日になら合わせて欲しいと思いました。(1)

- ・学校公開の次の週だったので仕事の調整がとても大変でした。(1)

→日程につきましては、第二土曜日に設定した場合、教員の受付当番の不足などにより、保護者による受付ボランティアを募る必要が出て参ります。その点も含めて今後検討して参りたいと思います。

- ・子供を会場で見ることができなかつたのが残念でした。事前に子供と見たい人は何時から来れば見られるか教えてもらえたらよかつたと思います。(1)

→学年便り等で児童の鑑賞時間については掲載をしておりましたが、今後もホームページなどで鑑賞時間のお知らせをして参ります。会場の広さから、一斉に保護者と児童が鑑賞するのは難しいと考えますので、ぜひ放課後、お子様と一緒に鑑賞いただければと思います。

- ・教育課程の管理は大切なので、制作や展示にかかる時間と、通常の教科の授業の時間のバランスを知らせていただけると親として安心できます。(1)

→制作は時間割に記載されている図画工作の時間に行っております。展示については行事時数のみを使い、教務主任中心に教育課程の適切な編成と厳正な履行を教育委員会の監督の下、円滑に行っております。

- ・展覧会のために授業をして月曜日が振替休日になる必要性が分かりません。授業をしているなら公開授業でもいいと思います。(1)

→練馬区教育委員会の方針で学校公開のある土曜授業は月の第二土曜日と決められています。本校の他の行事や他校の行事との兼ね合いで、展覧会は第三土曜日になりました。同月の第二土曜日が学校公開であったため展覧会では授業を公開しませんでした。保護者の方のご意見も踏まえて今後も検討して参ります。

- ・子供たちのメイキングの動画がとても良かつたのですが、同じ子ばかりうつり我が子が全く出てこないのは親として複雑な気持ちでした。できれば全校生徒が少しでも全員うつるようにしてもらえたら・・・と思いました。(1)

→ご意見ありがとうございます。なるべくいろいろな子を映そうと努力しておりますが、図工専科1人で授業を指導しながら撮影し、編集しております。全校児童を映すことや、全員平等に映っているかを集計することによって本来の授業指導が滞っては本末転倒と考え、今回は今年最後の行事となる6年生のみ、全員映るように集計・編集をさせていただきました。

- ・壁に貼られていた平面作品の説明などは、別の場所に冊子で置くのではなく、作品の側に貼ってあるともっとわかりやすくなるのにとおもいました。(1)

→名札の形式に関してはいろいろな種類を検討いたしました。今年度は、上の方に飾られた平面作品の解説も読めるよう配慮をし、下に冊子として置く形をとらせていただきました。今後も名札の形態に関しては検討して参ります。

- ・あまりに完成された作品が多かつたので、子供たちが自由に工夫できる部分が少ないのかなとかえって思ってしまいました。高学年はもう少しテーマや作り方なども子供の創造力に委ねた自由な作品空間があつても良いのではないかとおもいました。(1)

→本校の図画工作では、授業に設定されたためあてに沿ったテーマを子供たちに提示し、「あなたなら

このテーマで（この方法を使って）どんなものをつくる？」という問いを一番大切に、作品づくりを行っています。会場にあった作品は、大人から指導された発想ではなく、子供自身から生まれた発想ですので、是非完成度の高い作品を大切につくり上げたお子様に温かなお言葉をかけていただけたらと思います。

- ・ 展覧会自体は素敵ですが、音楽会や学芸会のようにみんな練習して作り上げることが（共同作品は合っても）ないため、寂しい気がします。作品を展示する行事をもうけつつ音楽会と学芸会を交互にしてもらえたらと思います。（1）

→ 学校行事ごとに、身につく力やねらいが違いますので子供たちが毎年それぞれのことを経験できるようにと考え、本校では3年周期で行事を組んでおります。展覧会での子供たちの活躍の場を、今後とも検討して参ります。

- ・ 可能なら、メイキング映像のDVDをいただけるとありがたいです。ご検討をお願いします。（1）

- ・ 制作過程のビデオは有料で配布して欲しいです。（1）

→ ありがとうございます。そのようなご意見をいただけて大変うれしく思います。今回は肖像権、著作権の関係で、DVD等での配布はできませんが、1月13日（土）学校公開中、会議室にて再上映を予定しております。どうぞよろしくお願い致します。

- ・ 作品の展示がクラス混合なのは何故ですか。（2）

→ 作品の色合い、形、テーマ等が隣り合わないようバランス良く配置するために、学年の担任と図工専科が話し合いながらクラス混合で展示のレイアウトをしています。

- ・ 「おどる光・遊ぶ影」の個人名が作品の底面に書かれていたため、制作者がわかる様にする工夫は必要だと思います。（2）

→ ステージ内の作品は個人作品ではなく、暗所の共同作品であったため、全体の空間を楽しんでいただくために他の学年と同様に氏名の表示を致しませんでした。しかし、氏名が見える作品と見えない作品があり統一ができなかった課題をはじめ、個人作品として楽しみたい保護者の方のお気持ちも踏まえ、今後の共同作品展示の参考にさせていただきます。

- ・ HPが更新されて、展覧会の様子が分かってしまうのは残念でした。（1）

→ おっしゃる通り、内容が全て分かるとつまらないです。そのため、部分的に掲載しました。映画などで内容を少しずつ公開して興味や関心を高める手法を取りました。ホームページを見て来校をされた他校の方もおられました。保護者の方からも「ホームページが良かった」とのご意見を多くいただきました。一般的な展示会等のHPと同様、いろいろなところからいらっしゃる方のために情報を発信しております。展覧会のおしらせ方法につきましては、今後とも検討して参ります。

- ・ 11月17日に見に行きましたが、図工の先生がずっと1人の方と話していました。質問したいこともあったので、残念でした。もう少し配慮がほしかったです。アンケートは無記名の方が書きやすいです。（1）

→ 図工専科に限らず全ての教員は、平等に全ての保護者の方とお話したいと思っておりますが、展覧会は図工専科の研修・研究の場も兼ねており他校の教員から指導講評を受けている場合がございます。その場合は今回のようにアンケートでご意見をいただきましたらと思います。アンケートの記名に関しては、あくまでも任意です。しかし、個々にお返事をする場合は、名前が必要です。また、ご来場者、保護者の方も全ての皆様にご自分の発言に責任をもって書いていただきたいと思います。